

三井住友DS・ 先進国債 インデックス・ファンド

追加型投信／海外／債券／インデックス型

日経新聞掲載名：SMD先債イ

2022年12月1日から2023年11月30日まで

第 3 期 決算日：2023年11月30日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主として外国の国債に投資し、F T S E 世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

基準価額(期末)	10,827円
純資産総額(期末)	568百万円
騰落率(当期)	+7.9%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年12月1日から2023年11月30日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	10,037円
期末	10,827円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+7.9% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)です。

※FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、FTSE Fixed Income LLCが公表する指数(FTSE世界国債インデックス)を基に委託会社が換算したものです。FTSE世界国債インデックスに関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。同社は、当ファンドのスポンサーではなく、当ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的と

しており、同社は、当該データの正確性および完全性を保証せず、データの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。また、同社は当ファンドの取引および運用成果等に関して一切責任を負いません。

基準価額の主な変動要因(2022年12月1日から2023年11月30日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として外国の国債に投資することにより、F T S E 世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 対円で投資通貨が上昇したこと
- 保有する債券から得られるインカム収益

1万口当たりの費用明細(2022年12月1日から2023年11月30日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	30円	0.297%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は10,171円です。
(投信会社)	(14)	(0.137)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(14)	(0.137)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	4	0.044	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(4)	(0.038)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	35	0.340	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

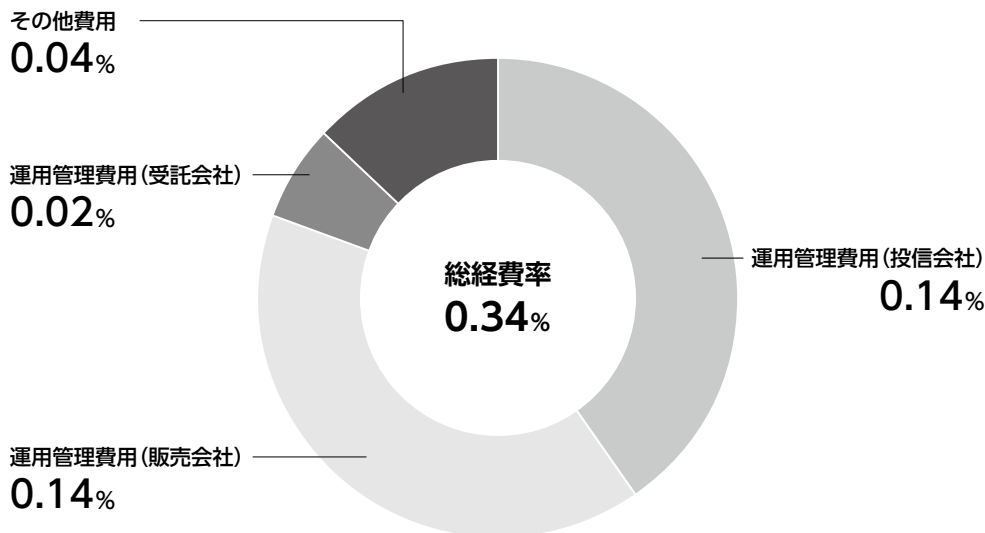
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

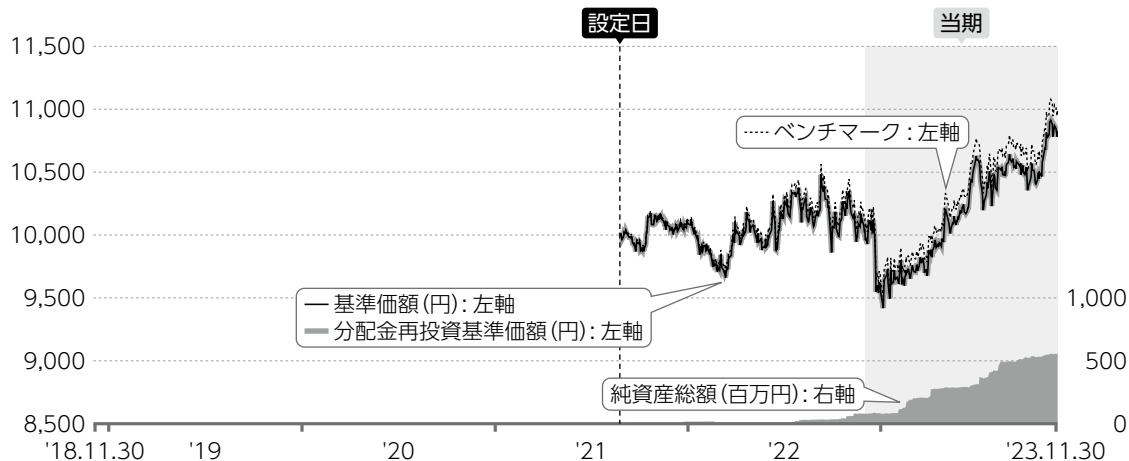
※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は0.34%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年11月30日から2023年11月30日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2021年8月23日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



※ベンチマークは、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2021.8.23 設定日	2021.11.30 決算日	2022.11.30 決算日	2023.11.30 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,037	10,037	10,827
期間分配金合計(税引前)	(円)	－	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	－	0.4	0.0	7.9
ベンチマーク騰落率	(%)	－	0.5	0.8	8.6
純資産総額	(百万円)	1	6	80	568

投資環境について(2022年12月1日から2023年11月30日まで)

債券市場は、米欧の長期金利は上昇(債券価格は下落)しましたが、債券の利息収益などがプラスとなり、トータルでは概ね横ばいとなりました。為替市場は投資通貨が対円で総じて上昇しました。

債券市場

シリコンバレー銀行の破綻を受けて、米欧金利の急低下が見られた場面はありましたが、その後の底堅い経済指標などを背景に、先進国中銀の金融引き締め長期化などが警戒され、米欧金利は大きく上昇しました。期末にかけては、米国などで景気減速の兆候が確認され、米欧金利は期中の上昇幅を縮小しました。

為替市場

グローバルに長期金利が上昇するなか、対円で投資通貨は上昇しました。日本銀行は段階的に金融政策の正常化を進めたものの、金融緩和的な姿勢を維持したことも円売り圧力となり、投資通貨の対円での上昇要因となりました。

ポートフォリオについて(2022年12月1日から2023年11月30日まで)

当ファンド

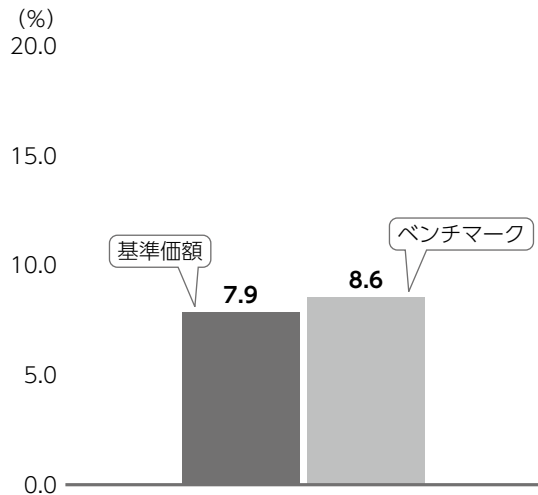
期を通じて主要投資対象である「外国債券パッシブ・マザーファンド」を高位に組み入れました。

外国債券パッシブ・マザーファンド

F T S E 世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。インデックス構成銘柄の変更が実施される毎月末において、ファンドの特性値(通貨・国別配分、満期構成、デュレーション等)をベンチマークに合わせるようにポートフォリオのリバランス(投資配分比率の調整)を行いました。

ベンチマークとの差異について(2022年12月1日から2023年11月30日まで)

基準価額とベンチマークの騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは、F T S E 世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)をベンチマークとしています。

記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は+7.9%(分配金再投資ベース)となり、ベンチマークの騰落率+8.6%を0.7%下方乖離しました。

下方乖離要因

- 資金流入によるタイミング効果
- 信託報酬等の費用が生じたため

分配金について(2022年12月1日から2023年11月30日まで)

(単位:円、1万口当たり、税引前)

項目	第3期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	827

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き主要投資対象である「外国債券パッシブ・マザーファンド」を高位に組み入れます。

外国債券パッシブ・マザーファンド

債券相場は、これまでの利上げに伴う景気減速が見込まれる中、F R B (米連邦準備制度理事会) など、グローバルに中銀のタカ派(インフレ抑制を重視する立場) 姿勢が緩むことで、金利の緩やかな低下を予想します。為替相場は、日本の貿易赤字拡大などの構造的な円安圧力が残るとみられるものの、グローバルに中銀のタカ派姿勢が緩む

ことも見込まれるなか、来年にかけては、海外通貨高・円安圧力が後退に向かう展開を予想します。

上記見通しのもと、引き続き、債券組入比率を高位に保ち、通貨・国別配分、満期構成、デュレーション(投資資金の平均回収期間)等を可能な限りベンチマークに近似させるよう運用を行います。また月次のベンチマークの構成銘柄の更新や、日々の資金流入入に対応し、迅速なりバランスを行います。

3 お知らせ

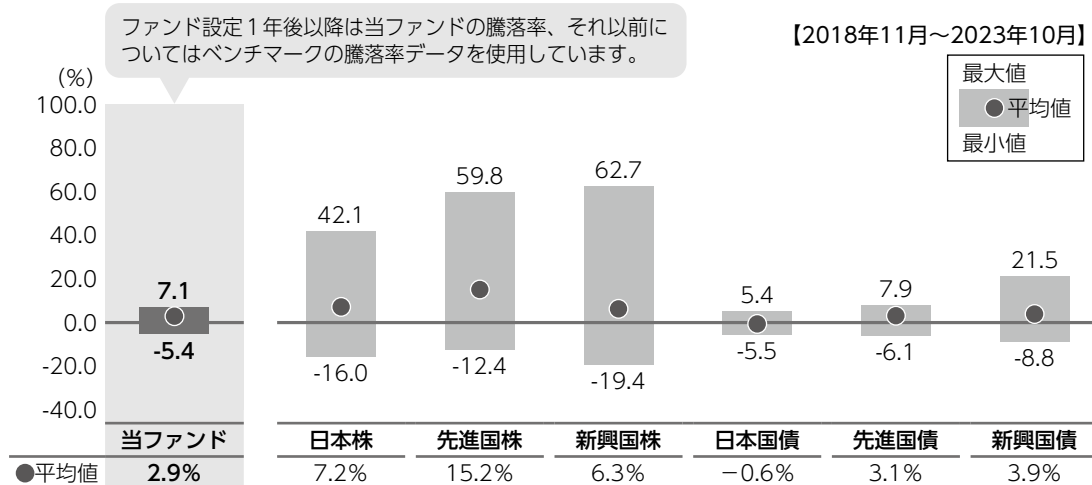
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型
信託期間	無期限(設定日：2021年8月23日)
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として外国の国債に投資し、F T S E 世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 外国債券パッシブ・マザーファンド 日本を除く世界各国・地域の公社債等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ F T S E 世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。 ■ 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■ 外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。 外国債券パッシブ・マザーファンド <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ■ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ 年1回(原則として毎年11月30日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■ 分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

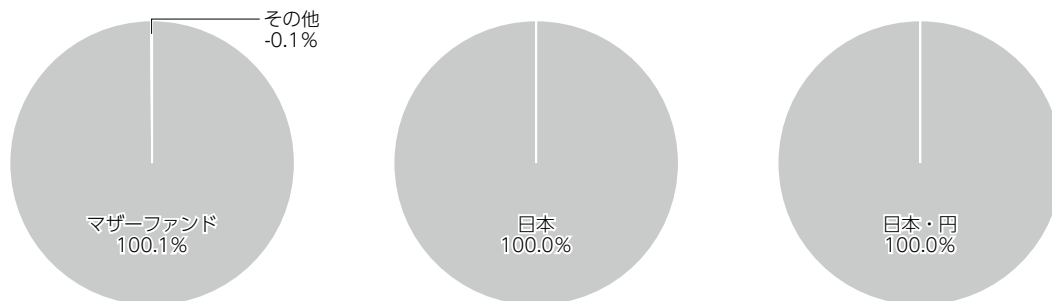
当ファンドの組入資産の内容(2023年11月30日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
外国債券パッシブ・マザーファンド	100.1%
コールローン等、その他	-0.1%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目		第3期末 2023年11月30日
純資産総額	(円)	568,449,519
受益権総口数	(口)	525,007,101
1万口当たり基準価額	(円)	10,827

※当期における、追加設定元本額は467,002,780円、解約元本額は21,838,442円です。

組入上位ファンドの概要

外国債券パッシブ・マザーファンド(2021年12月18日から2022年12月19日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
その他費用	(保管費用)	8	(8)
	(その他)		(0)
合計		8	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

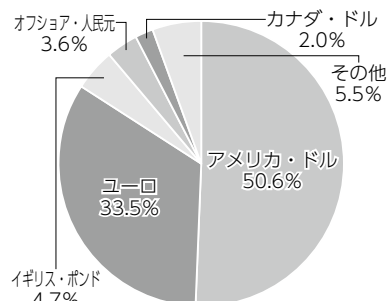
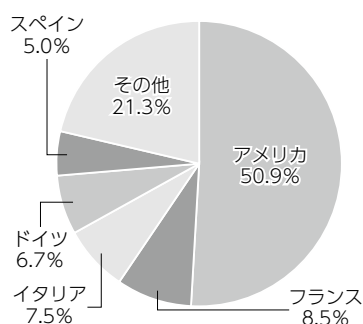
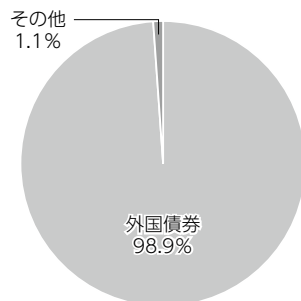
(基準日：2022年12月19日)

	銘柄名	組入比率
1	US TREASURY N/B 1.625 05/15/26	1.2%
2	US TREASURY N/B 2.25 03/31/26	1.1%
3	US TREASURY N/B 2.875 05/15/28	0.8%
4	US TREASURY N/B 0.125 02/15/24	0.6%
5	CHINA GOVERNMENT BOND 2.69 08/12/26	0.6%
6	US TREASURY N/B 1.125 02/15/31	0.6%
7	US TREASURY N/B 1.375 08/31/26	0.6%
8	US TREASURY N/B 2.125 03/31/24	0.6%
9	CHINA GOVERNMENT BOND 3.02 05/27/31	0.5%
10	US TREASURY N/B 0.625 12/31/27	0.5%
	全銘柄数	628銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※基準日は2022年12月19日現在です。